

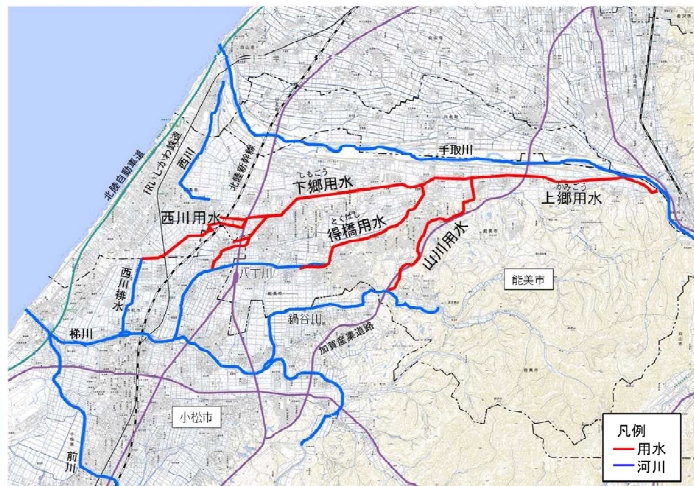
集水域・氾濫域における治水対策 小松市、能美市の用水事前停止

梯川水系

○能美市、小松市は手取川宮竹用水土地改良区と、用水の取水停止に関する協定を締結し、地区の雨水排水に取り組んでいる。事前に大雨が予測される場合に、農業用水の供給量を停止することで、地区内にある用水路の水位を下げることで、地区の浸水被害の軽減を図る。

■用水に関する治水協力協定(能美市、小松市)

- 令和5年(2023年)6月に、能美市、小松市、手取川宮竹用水土地改良区による宮竹用水事前停水(宮竹用水の取水約13m³/sを事前に停止)を行うための治水協力協定が締結された。
- 本協定により、大雨が予想される時は、梯川右岸の能美市、小松市内に設置されている宮竹用水の取水を停止し、地区内にある用水路の水位を下げることで、用水路へ雨水が排水されやすくなることで、地区の浸水被害を防ぐことができる。
- 宮竹用水が管理する総延長約110kmの水路を排水路専用として活用でき、水を貯める機能を担う効果が期待でき、内水による浸水被害の軽減を図る。



宮竹用水は、手取川より取水し、能美市、小松市内を流下し、梯川支川へ合流
[宮竹用水網と河川]



(従来)
排水に使用できる容量の制約



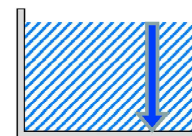
■事前停水による排水容量確保のイメージ



[事前停水実施]
事前に大雨が予測される場合に、農業用水の供給量を停止し水路の水位低下
(令和5年実績: R5.6.30~7.1, R5.7.12~7.14)



事前停水により排水に
使用できる容量の拡大
(貯水及び排水の受け皿を確保)



用水路を排水路として活用

■事前停水による排水容量確保のイメージ

水位を下げ、用水路へ雨水が排水されやすくなる